

2024 年の幕があがりました。

1 月の館内では恒例となった美術の作品展「冬の陣」
がおこなわれています。このときばかりは図書館が
まるで美術館のような空間に変わります。
ぜひ多くの人に足を運んでもらいたいです。



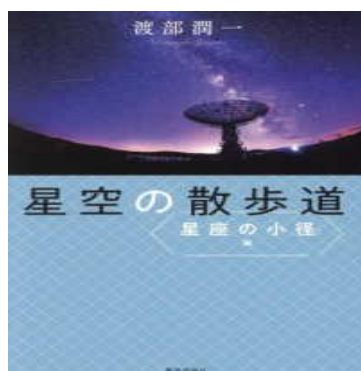
■今月の新着図書から■



『騎士道の作法』 分類 230

祝田秀全 / GB

中世ヨーロッパでは、「騎士」はカリスマ的影響力をもつ存在だったそうです。戦闘で戦うだけではなく、振る舞いやその精神性は「騎士道」として認知され、現代ヨーロッパ諸国の国民性にも影響を与えているそうです！



『星空の散歩道』 分類 440

渡部潤一 / 教育評論社

東京で暮らしていると、夜空の星は数える程しか見えませんが、この本では四季を通じて多彩な夜空の世界が紹介されています。「見上げれば宇宙がある。」確かに！



『世界の広告クリエイティブを読み解く』 分類 674

山本真郷 / 宣伝会議

広告を見てある国では「これはいい!」と評価され、別の国では「なんてひどい」と嫌われる。こうした価値観の違いは、文化的背景の違いがあるようです。異文化を理解するうえで、なかなか興味深い 1 冊です。



『BREAKING プレイキン』 分類 799

ザカオ / 日本文芸社

ページを開くとブレイクダンスが写真で解説されていますが、人間の体がこんなにさまざまな角度で曲がるのか、と驚きます。今の私が真似をしたら、たちまちぎっくり腰になってしまうでしょう。皆さん、チャレンジするなら体のやわらかい今のうちですよ！



『八月の御所グラウンド』 分類 913

万城目学 / 文芸春秋

この作品を紹介しようとした朝、第 170 回直木賞を受賞したというニュースが飛び込んできました。京都を舞台に方向音痴の女子校生が急きょ先輩に代わって出場した全国高校駅伝。そのさなかに体験した不思議な出来事とは？！



『百鬼園事件帖』 分類 913

三上延 / KADOKAWA

著者の三上さんといえば「ビブリア古書堂」シリーズで有名ですが、この作品は大正から昭和を舞台に、内田百閒と大学生の甘木が巻き込まれる不思議な怪奇事件の数々。有名な文学者たちも登場します。あわせて内田百閒作品も読んでみて！

下駄箱が新しくなりました!!

Before



以前は中の島のように通路中央にも下駄箱がありましたが、両壁に高さのある下駄箱を入れて、すっきりさせました。学年集会時の混雑もこれで避けられそうですね。組み立てを頑張ってくださった用務さんに感謝しましょう!

After!



● 1 月館内図書展示 美術の作品展「冬の陣」1 月 15 日～25 日

15 日から館内では美術の「冬の陣」がはじまりました。大型の油絵作品から、立体物まで充実した作品が並んでいます。早速鑑賞した人からは、「これ、家に飾りたいよ」という声もあがっていました。

実際に観ると細部までの表現に驚嘆します!「やっぱり絵画って直接観るほうがいいですね」という感想も。まだ観ていない人はぜひ会期中メディアセンターまでお越しください。



本棚 今年の元旦は北陸地方を震源とした大きな地震がおこり、二十日近くたった今も、水道や電気が復旧していない地域が数多くあるようです。一年でもっとも家族で団らんしている日にこのようなことが起こるとは…。本当に胸痛む思いです▼大きな震災といえば、二〇一一年におきた東日本大震災を思い出します。地震が起きた時はちょうど放課後で、館内では多くの人々がパソコンで課題をしていました。そこに突然大きな揺れがあり、すぐに生徒を机の下に潜らせ、高い本棚のエリアを確認しにいきました。すると生徒の一人が「司書さんも早く机の下に!」と声をかけてくれたのです。この震災後、高い書架はすべて工事をして床づけしたので、多少の揺れでは倒れることはないと思います。が、予測できないことはおこるものです。防災の意識は常にもって運営をしていきます(渡邊)